



# 楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校  
学校だより 第3号  
令和6年4月30日(火)  
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

## 第1回 学年集会

～学年の子どもは学年全体で育てる～

ホームページでもお知らせしましたが、年度始め、全学年で学年集会を行いました。

主な内容は、以下のとおりです。

- 1 開会
- 2 学年部の先生方の紹介
- 3 学校教育目標及び学年目標について
- 4 生活のきまりについて
- 5 学習のきまりについて
- 6 校長先生のお話
- 7 閉会

「学年の子どもは、学年部の教師全員で育てる」、これが合志楓の森小学校のスタンスです。

例えば、生活や学習の決まりなどは、クラスによって差があると、「1組はいいのに、2組ではだめ」などとなり、子どもたちへの不信感につながります。

そのようなことがないように、教師は、学年会議で協議した内容について、共通理解を図り、共通実践に努めていきます。

校長講話では、児童の実態に合わせて、次のような話をしました(概要を以下に述べます)。

○1年生……「おうちの人から起こされず、自分で起きた人！」と聞きました。8割程度が手をあげました。早く起きるためには、早く寝ることが大切です(9時までには寝ること)。「睡眠をしっかりとりとることで、やる気ができて学校でも楽しくがんばることができます」と伝えました。

○2・3年生……2年と3年は同じようなお話をしました。まず、「朝、自分で起きることの大切さ」について、1日の始まりを人に助けてもらうのではなく、自分でできることは、自分でやることで、自立心が育つことを伝えました。また、前期始業式(4/8)に話した3つのこと「自分から先にあいさつができる子、無言で掃除ができる子、先生の話をきちんと聞くことができる子」について、これらができたら幸せな大人になれるというお話をしました。また、例の「ウメボシマン」のお話をしました。それは、「はじめは自分勝手に小さい心(ウメボシ)から周囲に気を配ることができるようになると、少しずつ大きくなり、イチゴ→リンゴ→スイカと大きな心になって、全体のことを考えて行動できるようになる」というお話です。

○4年生……さらに、4年生では、3年生の話に付け加えて、「人生100年と限られた人生の中でどう過ごすか？というお話について、「志を高く持ち、良いと思う行いを続

けて行うことで、必ず道は拓ける」という校訓のお話をしました。

しかし、実際には、「何をすべきなのか、何をしたらいいのか」と、考えても、行動に移していない人が多いのです。世の中で成功している人は、「行動力」がある人です。考えるだけでなく、行動にあらわすことこそ大切であることを伝えました。

○5年生……5年生では、4年生に付け加えて、悪い行いを見て、見ぬふりをしないことについて、具体的な例を示して話しました。

また、やさしさに包まれているクラスは、相手のことを考えている子が多いクラスです。ですから、居心地が良くリラックスして物事に取り組むことができます。失敗しても励ましてくれたり、分からない問題があったら、やさしく教えてくれたりします。お互いがお互いをリスペクト(尊敬)する関係がなりたち、学力だけでなく、人間力まで向上します。良い友達と出会い、良い大人(親、先生、指導者など)との出会いに気づき、自分をみがいてくださいと話しました。

○6年生……学年集会は、したのですが、私が出張で話ができませんでした。次回の学年集会で、最高学年としての自覚と夢を叶えるためには何をすればよいかというお話をします。

## 新入生歓迎会！

4月26日(金)、新入生歓迎会がありました。企画委員会が進行しました。歓迎の児童代表あいさつを6年生の富田咲希さんと古閑徠斗さんが行いました。次に、新入生と仲良くなるために、「体ジャンケンゲーム」をしました。企画委員会の児童と全校児童が対戦して、負けとあいこの児童は、脱落していきます。勝ち続けている児童が絞られたところで、ジャンケンの神(校長)があらわれました。神とジャンケンをし、勝ち残った2人(2年生山本楓子さん・2年生吉良友貴さん)は、神から表彰されました。



楓の森小HP

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧ください  
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

